

デザインから考える障害者福祉

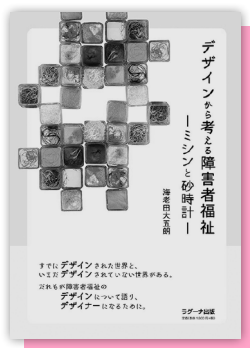
—ミシンと砂時計—

著：海老田大五郎

定価：本体1800円＋税／発行：ラグーナ出版

TEL：099-219-9750

「障害者が働けるか働けないかは、工夫や設計次第、つまりデザイン次第である」という視点から始まる本書は、障害者とその家族・地域とのかかわり、作業空間と時間、道具、組織など、障害者と働く現場の声をひろい上げ、「実践的な論理」をつむいでいく。共生社会の実現をめざすこれからの障害者雇用、教育、社会福祉を志す人に。



身体拘束ゼロの認知症医療・ケア

監修：山口晴保・田中志子／執筆：大誠会認知症サポートチーム

定価：本体1600円＋税／発行：照林社

TEL：03-5689-7377

医療・看護において身体拘束をしないのが原則であるが、カテーテルの自己抜去や転倒など、生命に直結するリスク回避のためには不可避という考えもある。本書では「どうしたら身体拘束はなくせるか」という課題に対して実践された具体的なテクニックを、「点滴抜去」「帰宅願望」「徘徊」などの場面別に紹介する。



認知症の人のイライラが消える接し方

著：植賀寿夫

定価：本体1400円＋税／発行：講談社

TEL：03-5395-4415

認知症ケアではお年寄りの「頼りになる人」になることが大切、と著者は考える。ベテランの介護者たちが臨機応変に適切にくり出す対応の数々は、理不尽なイライラや暴言・悪口、「帰りたい」と外へ出ていこうとする高齢者の心をおだやかにする。紹介される事例には、ぜひ試してみたい解決法が満載。

臨床ナースと学ぶ

ケース別 フィジカルアセスメントのコツ

編著：田中晶子・大崎千恵子

定価：本体2800円＋税／発行：丸善出版

TEL：03-3512-3256

ベテランの看護師がどのように患者さんとコミュニケーションをとりながら頭から爪先までフィジカルアセスメントを行っているのかをイメージしやすいように、声かけの例を示しつつ一連の流れを順に追って解説する。また、打診や触診などの基本技術を繰り返し練習・学習できるよう、QRコードから動画を視聴できる。